

PORTFOLIO

LEE JONGHYEON

イジヨンヒヨン

1. 自己紹介

2. PROJECT

3. VISION

About me

こんにちは。私はイジョンヒョンと申します。

永進専門大学校・ゲームメタバース科で勉強中です。

1, 2年生の時は**Unity,C#**などゲーム開発に必要な技術を学びました。

今年の3月からは韓国政府の教育機関で**AI**に関する研修を受けています。

この教育機関で主に**Machine Learning, Deep learning**,コンピュータビジョン,**LLM**など

最新の**AI**技術を幅広く勉強しています。

skills

Languages

Python: 上

C#: 中

Frameworks&Libraries

FastAPI: 中

Streamlit: 上

AI / Machine Learning

Machine Learning: 下

Deep Learning: 中

PyTorch: 中

上：使用した経験が多い。

中：使用した経験がある。

下：使用した経験はあるが，苦手。

PROJECT

LEE JONGHYEON

▶ねえ！これ食べてみて！



Food
야! 이거 먹어

[8조] 박정호, 이은빈, 이종현, 최유성

サービス紹介

毎日昼ご飯のメニューを悩むクラスのみんなに
AIがメニューをおすすめする
サービス

サービス特徴

クラスの皆の昼ご飯メニューだけを考えてので、
アカデミーから500m以内の
飲食店だけを検索してくれる

開発期間・人数

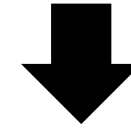
2025.03.17~2025.04.04（約3周） / 4人

開発言語・環境・技術

（赤字：担当した部分）

python, streamlit, Machine Learning

サービス開発の流れ



1. データの収集

Webクロールで
店の営業情報，メニュー，
評判などを収集する

ただし，昼休みが1時間だけだから
1時間以内に食べて帰ることが
できるように
アカデミーから**500m**以内の
店のみ検索する

2. データの処理 & 学習

収集されたデータから
AIの学習に使えるデータのみ残す。

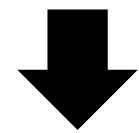
最終的に残したデータを
使って**AI**学習する。
(**machine learning**)

3. サイト制作

streamlitを利用して
皆が使えるように
WEBを開発

実際に使いながら
問題点を探す。

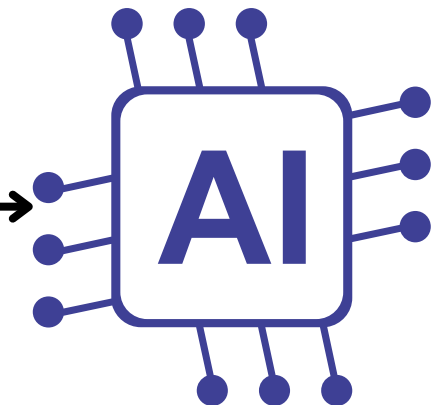
サービスの流れ



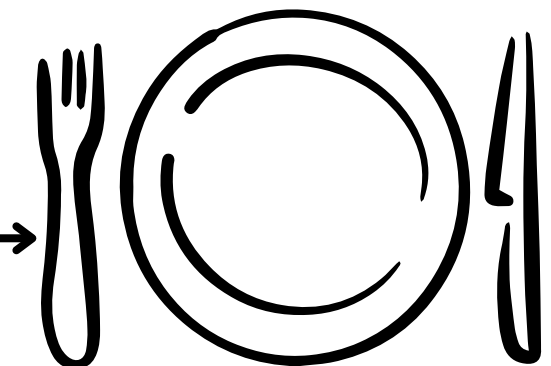
1. クラスの人がウェブに接続
2. 現在自分の気分, 好みなどを記入



AIが人が記入したデータを分析



おすすめのメニューを出す。



問題だったこと

データ収集段階での問題

Webクロールをする時、
NAVERMAPからIP遮断されました。

解決した方法

- (1) クロールする時間を少し長くすることで遮断を回避しました。
(`time.sleep()`をもっと長く設定)
- (2) `user-agent`のミスを修正しました。

学んだこと

IFRAMEが使われているサイトで
Webクロールをする方法を学びました。

何よりも学校以外の人たちと
プロジェクトをすることが
初めてだったので
Team Projectを経験することが
できた。

サービス紹介

ドローンで撮影された映像の中で
人を検索するサービス

開発した理由

ドローンを使って行方不明の人を探す
ニュースを見て私たちのプロジェクトで
開発してみたかったです。

開発期間・人数

2025.04.07~2025.05.02（約1ヶ月） / 4人

開発言語・環境・技術

（赤字：担当した部分）

python, streamlit, DeepLearning

▶ 行方不明の人を捜索するドローン



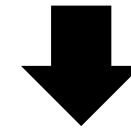
사람을 살리는 드론

팀 폭격기

8조-이종현, 박범기, 배성우, 손영석



サービス開発の流れ



1. データの収集

Roboflowでラベリングされた
データを中心に収集

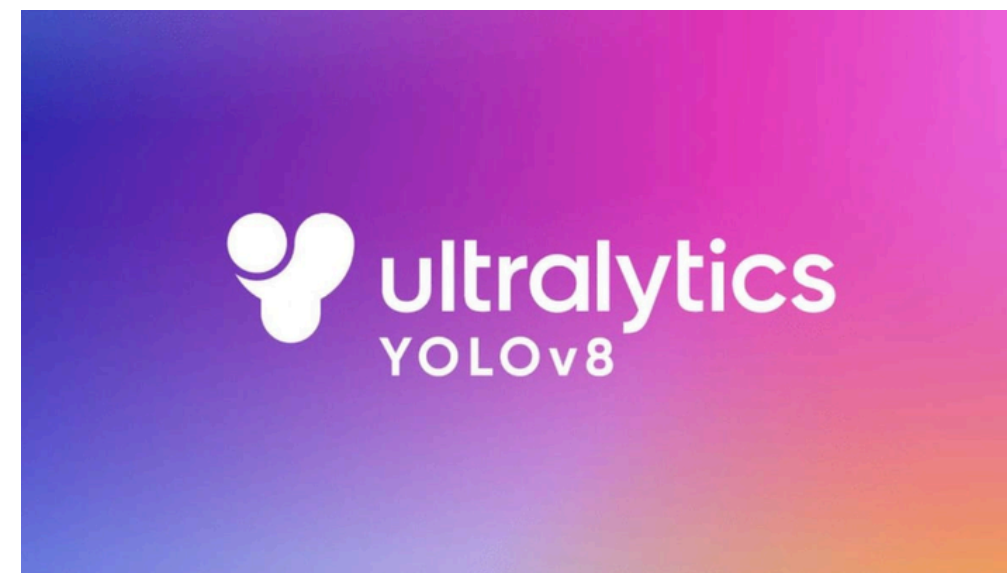
ドローンの映像であるため、空中で
撮影された映像を収集



2. データの処理 & 学習

私たちのモデルに収集した
データを学習させる。

基盤になったモデルは
YOLOモデル。



3. サイト制作

streamlitを利用して
皆が使えるように
WEBを開発

収集した映像を**streamlit**に
アップロードして私たちが
開発した**AI**モデルに連結する。

問題だったこと

AIの性能確認問題

チーム中で誰もドローンを持って
いなかったので実際にドローンを
飛行させながらAIを使うことが
できなかった。

解決した方法

(I) インターネットでドローン映像を探して
私たちが開発したAIと連結して性能を確認した。

学んだこと

少ない部分しか担当しなかった
前のプロジェクトとは逆に
今度は全ての部分に参加して開発。

AIを開発する時にもう一度データの
重要性を確認した。綺麗にラベリングされた
データで学習するとAIの性能飛躍的に向上された。

VISION

LEE JONGHYEON

VISION

私のビジョンは、「**AI**技術を活用して、現在は解決が難しい課題に挑戦することです。

特に今日本も韓国も少子高齢化の問題が深刻ですが、私はこの問題の解決の力ギも**AI**だと思います。

例えば現在日本の多くの企業が人材不足の問題を抱えていますが、**AI**を積極的導入することで社員の負担は減らし、人材不足の問題も解決できると思います。そして**AI**に対する教育を受けた

私はその問題解決に貢献できると思います。

LEE JONGHYEON

**THANKS
FOR
WATCHING**

イジョンヒョン

a7549985@naver.com

www.reallygreatsite.com